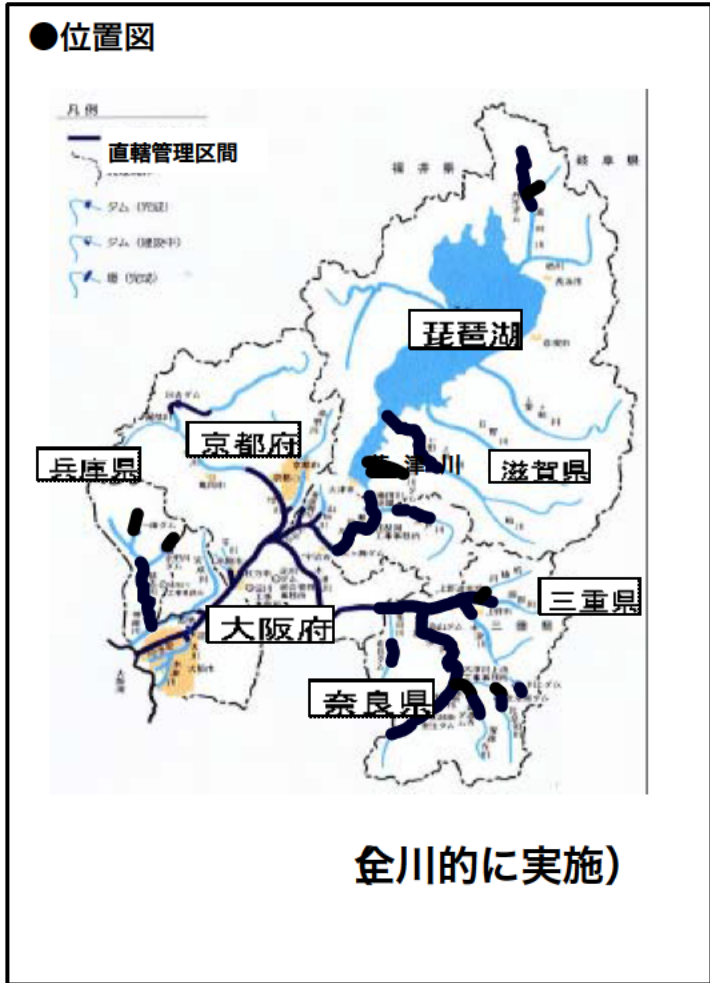


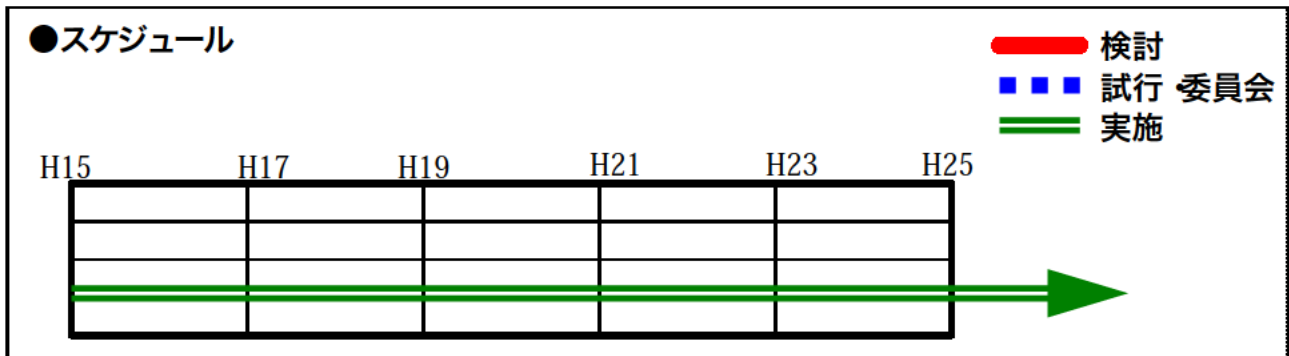
説明資料 第1稿)での記載箇所		章項目	5 2 8	ページ	p.10	行	8行目
事業名	生物に配慮した低水護岸工法の採用		河川名	事例河川			
府 県	-	市町村	-	地先	-		

●現状の課題
 河川工事の施工、土砂の仮置き、工事用道路の設置やそれらの工事に伴う濁水の発生などが生物の生息 生育環境に影響を与えている場合がある。

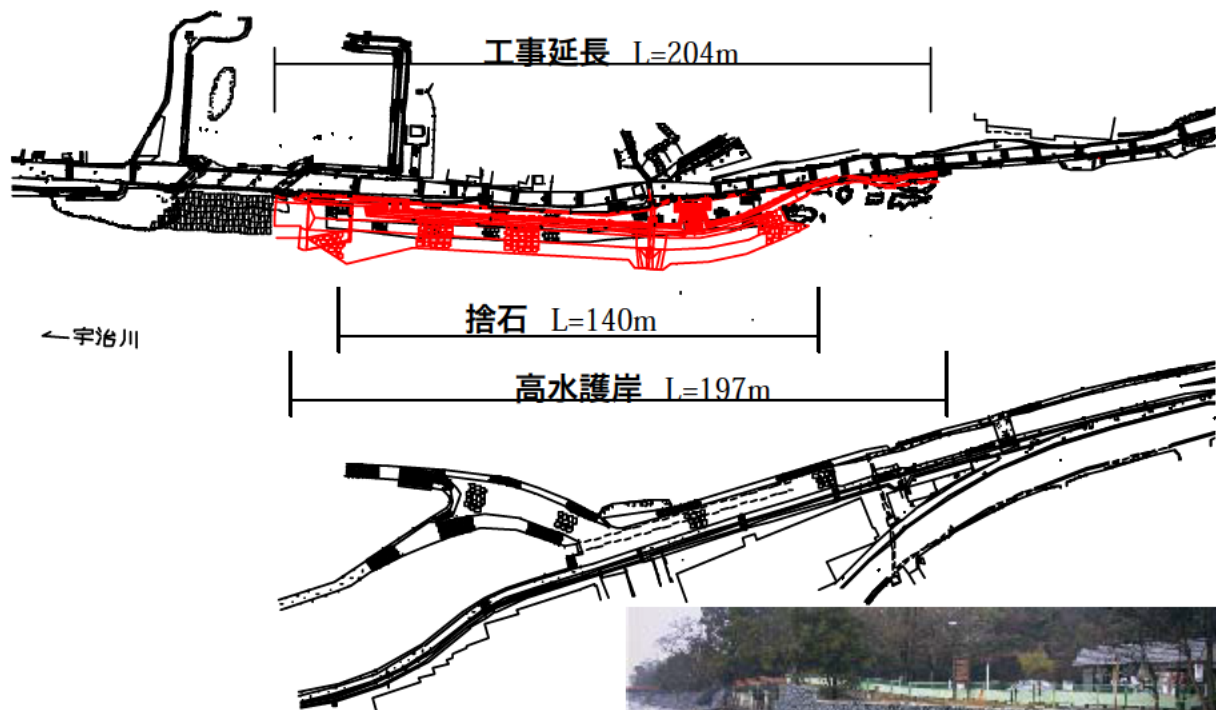
●河川整備の方針
 低水護岸を施行する場合は、生物の生息・生育を配慮した工法を採用する。



●具体的な整備内容 事例)
 生物に配慮した低水護岸工法の採用

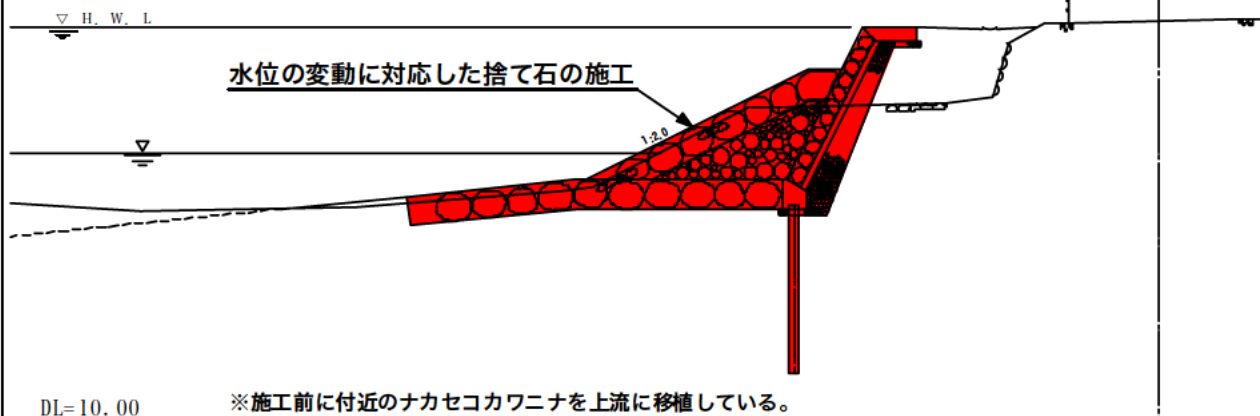


●平面図 事例)



●横断面図 事例)

標準断面図



■ . . . 施工箇所

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 2 8	ページ	p.10	行	9行目
事業名	植物の発芽時期などを考慮した施行		河川名	事例河川		
府 県	－	市町村	－	地先	－	

●現状の課題
 河川工事の施工、土砂の仮置き、工事用道路の設置やそれらの工事に伴う濁水の発生などが生物の生息・生育環境に影響を与えている場合がある。

●河川整備の方針
 仮締切、工事用道路等の仮設工作物及び施行機械、施工時期等については、できるだけ生物の生息・生育環境への影響を少なくするようにする。

●位置図

兵庫 京都 滋賀 三重 奈良 大阪

琵琶湖

金川的に実施)

●具体的な整備内容 事例)
 植物の発芽時期などを考慮した施行

●スケジュール

検討
 試行 委員会
 実施

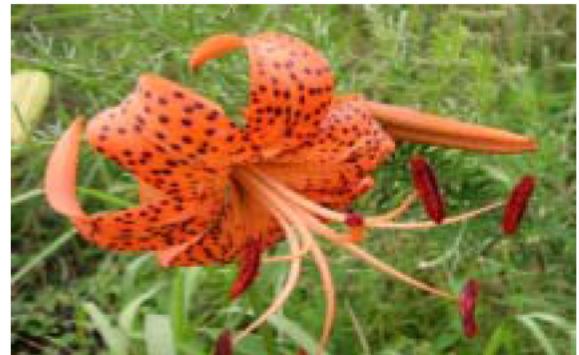
H15 H17 H19 H21 H23 H25

●工程表 事例)

木津川除草作業工程表

区 分	5月	6月	7月	8月
一 般 部				
オニユリ群生地				

●状況 事例)



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.10	行	12行目
事業名	現況の植生を考慮した必要最小限の工事用道路の設置		河川名	事例河川		
府 県	－	市町村	－	地先	－	

●現状の課題
 河川工事の施工、土砂の仮置き、工事用道路の設置やそれらの工事に伴う濁水の発生などが生物の生息・生育環境への影響を与えている場合がある。

●河川整備の方針
 仮締切、工事用道路等の仮設工作物及び施工機械、施工時期等については、できるだけ生物の生息・生育環境への影響を少なくするようにする。

●位置図

兵庫 京都 滋賀 三重 奈良 大阪

琵琶湖

金川的に実施)

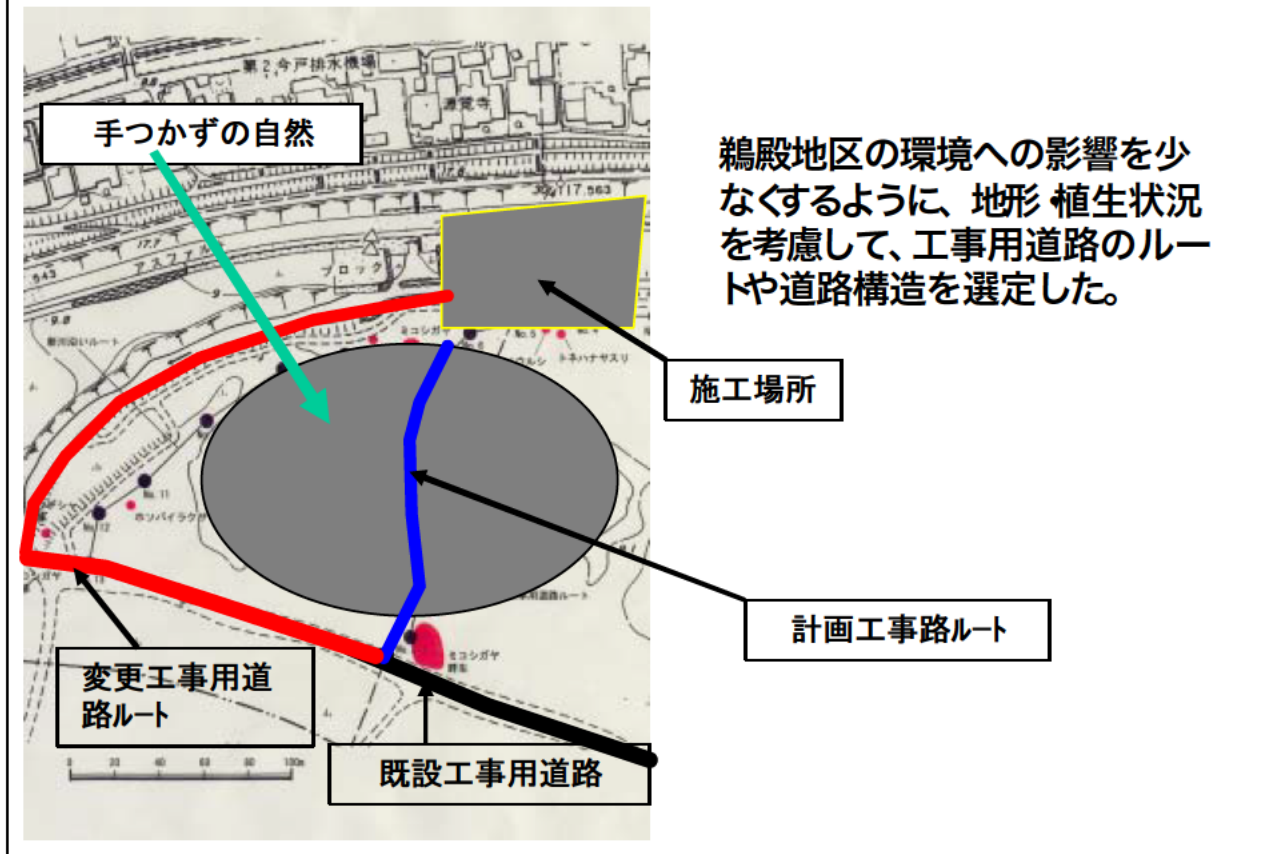
●具体的な整備内容
 現況の植生を考慮した必要最小限の道路幅、ルート、構造の工事用道路の設置

●スケジュール

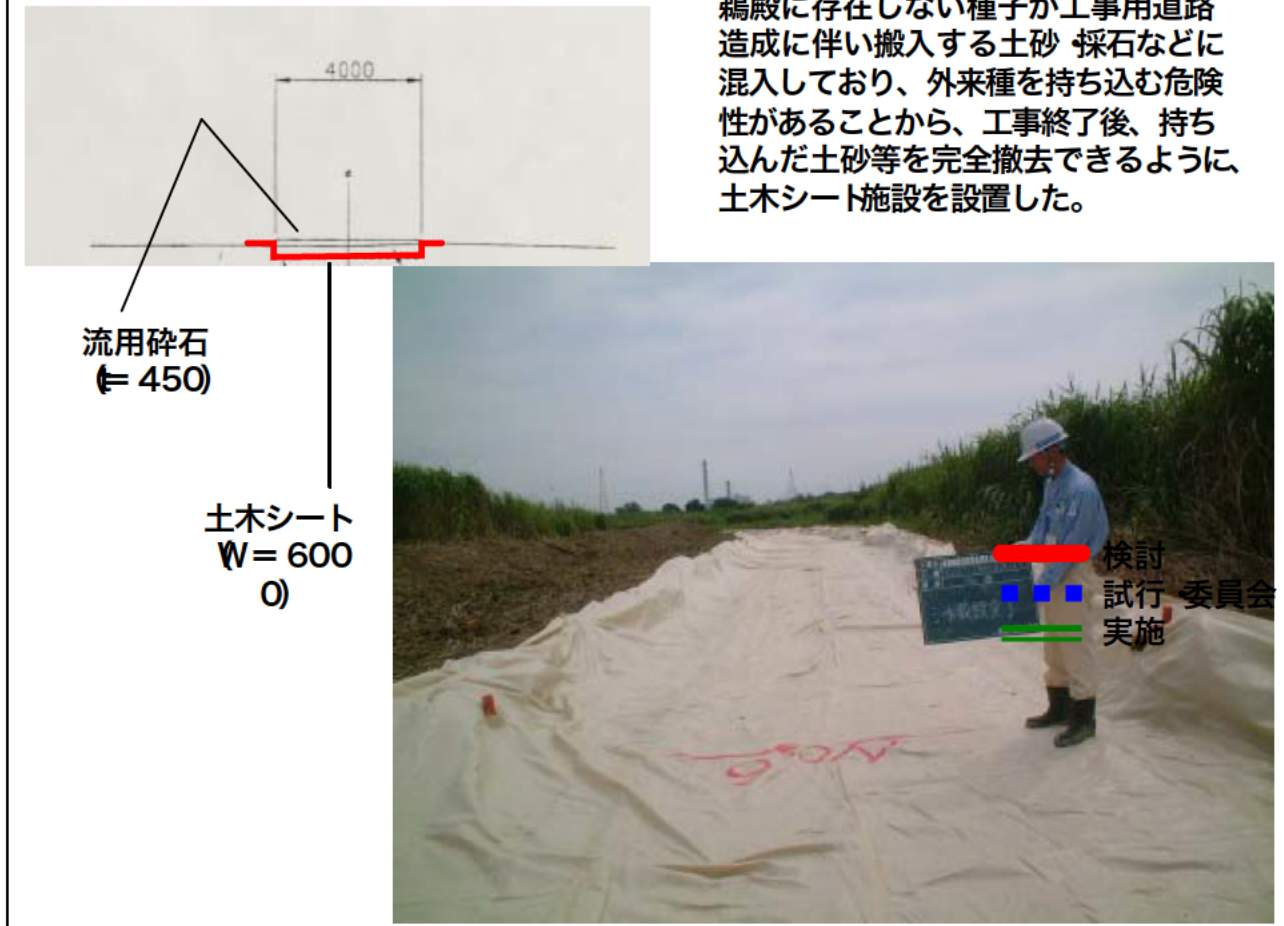
■ 検討
■ 試行 委員会
■ 実施

H15	H17	H19	H21	H23	H25
➔					

●実施例 淀川)の平面図



●実施例の横断図



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.10	行	14行目
事業名	工事中濁水の生物水域への流入防止		河川名	事例河川		
府 県	－	市町村	－	地先	－	

●現状の課題

河川工事の施工、土砂の仮置き、工事用道路の設置やそれらの工事に伴う濁水の発生などが生物の生息 生育環境への影響を与えている場合がある。

●河川整備の方針

工事により発生する濁水は、できるだけ生物の生息 生育条件に影響を与えないよう排水ルート等に配慮する。

●位置図

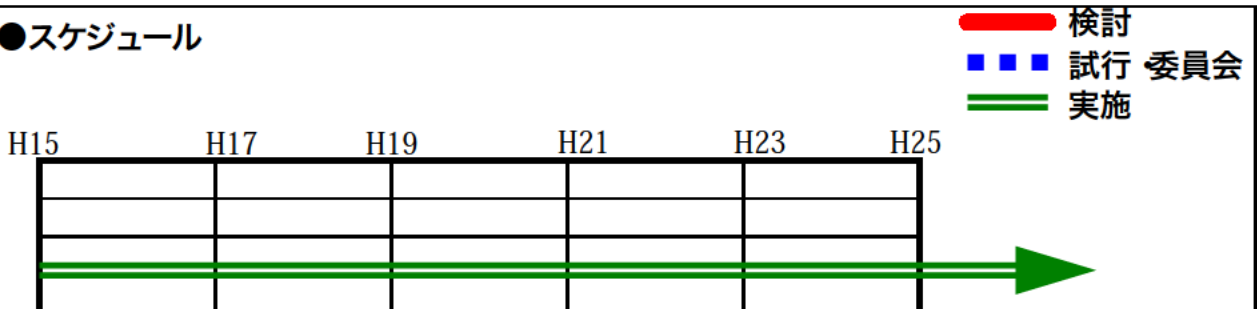


全川的に実施)

●具体的な整備内容

工事中の濁水をワンドなどの希少な生物が生息する水域へ流入することを防止

●スケジュール



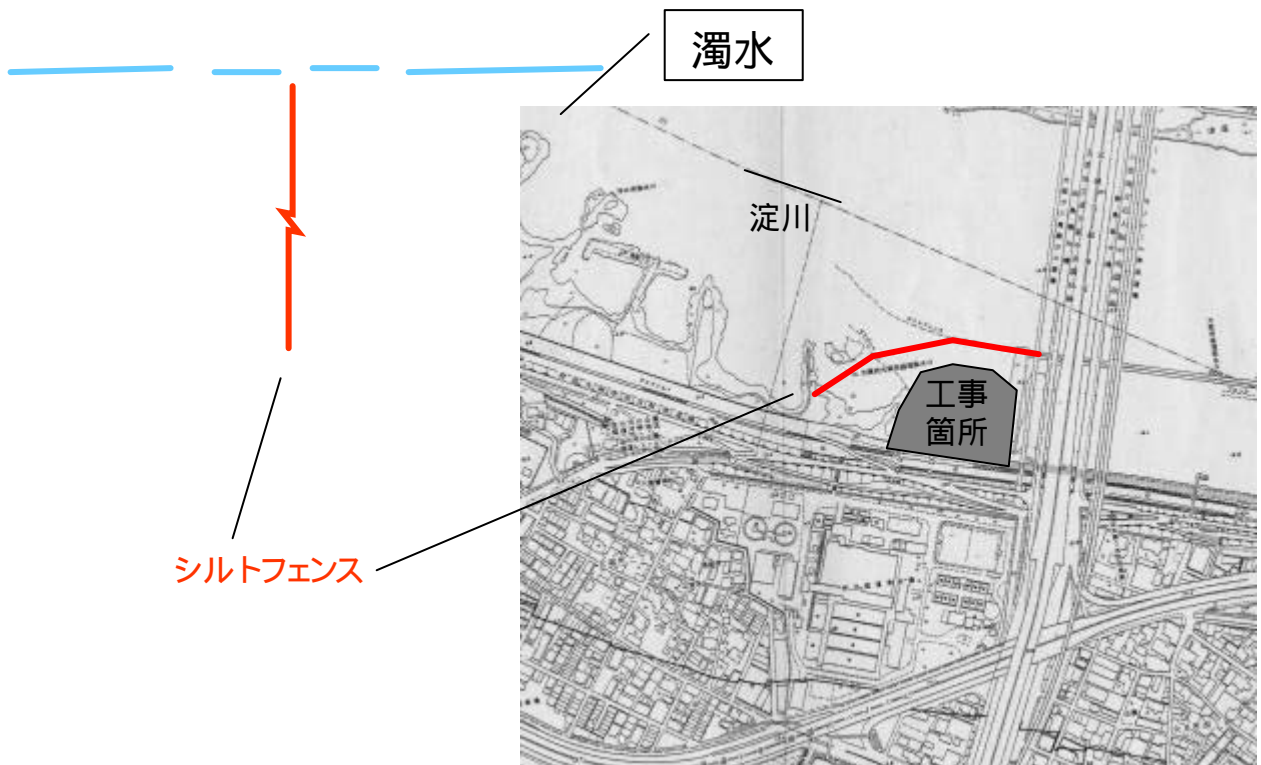
実施例 (淀川) の現況写真

シルトフェンス
(工事濁水の流出防止)



実施例

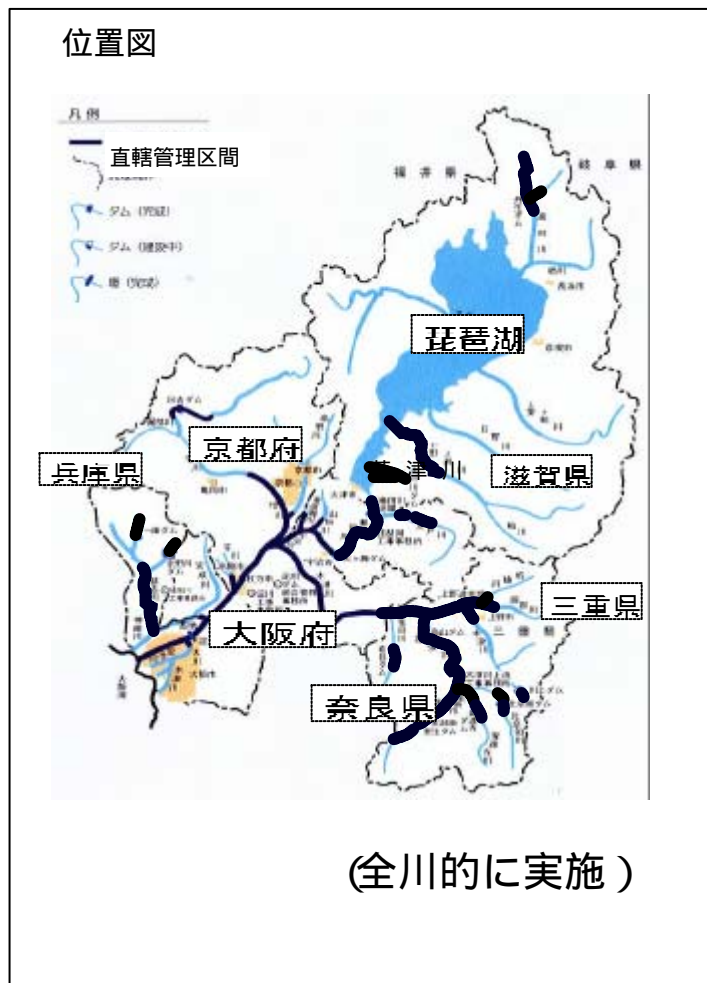
工事濁水が工事区域外に流出しないようシルトフェンス(カーテン)を実施



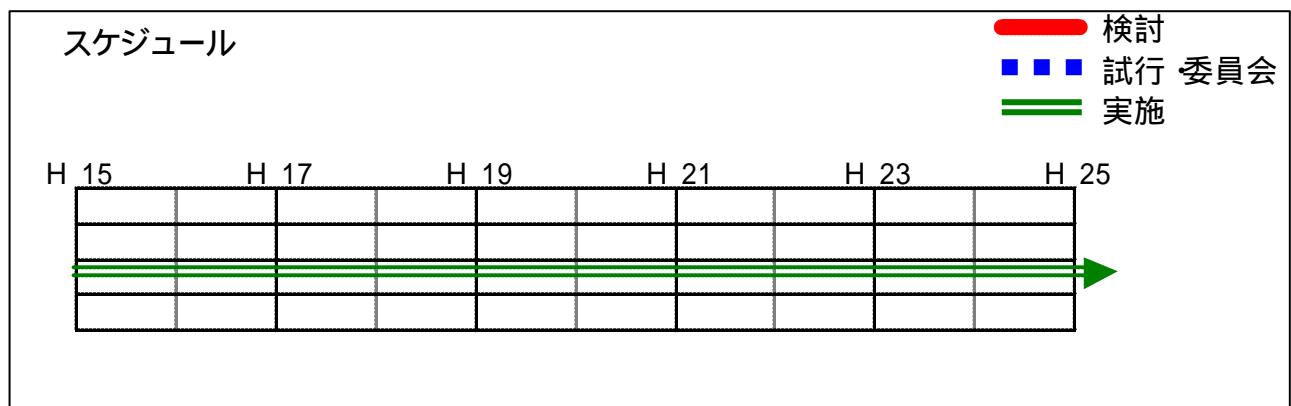
説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5.3.4	ページ	p.10	行	15行目
事業名	振動や騒音を最小限に押さえる施工機械の使用		河川名	事例河川			
府県	-	市町村	-	地先	-		

現状の課題
 工事の施工に伴い、生物の生息・生育環境に影響を与えている場合がある。

河川整備の方針
 施工機械について、できるだけ生物の生息・生育環境への影響を少なくするようにする。



具体的な整備内容
 (事例)
 ・振動や騒音を最小限に抑える施工機械の使用。



環境対策型建設機械の使用促進

建設機械に関する技術指針の促進

排出ガス対応型 建設機械の
認定 使用の義務付け

低騒音・低振動型 建設機械の
認定 使用の義務付け

環境対策型工法の導入

各種パイロット施工

新技術情報提供システム (NETISシステム)
による情報提供

直轄工事での
積極的な使用

実例写真

低振動型機械の導入



生態系に配慮した新機種機械・工法の採用

排出ガス対策型建設
機械使用の義務付

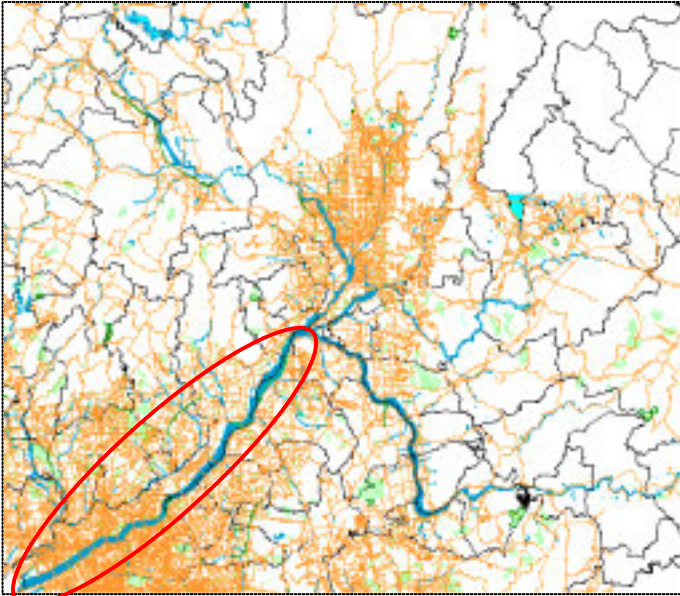


説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5.2.8	ページ	p.10	行	16行目
事業名	土砂輸送手段検討業務		河川名	淀川			
府県	大阪府	市町村	淀川沿川市町		地先	-	

現状の課題
 河川工事の施工、土砂の仮置き、工事用道路の設置やそれらの工事に伴う濁水の発生などが生物の生息・生育環境に影響を与えている場合がある。

河川整備の方針
 河川工事のための大量土砂の輸送手段としての舟運や緊急用河川敷道路の活用、土砂仮置場の堤内地での確保、河川敷内仮置き箇所・面積の縮小、工事用道路の既存土の活用等を図る。

位置図



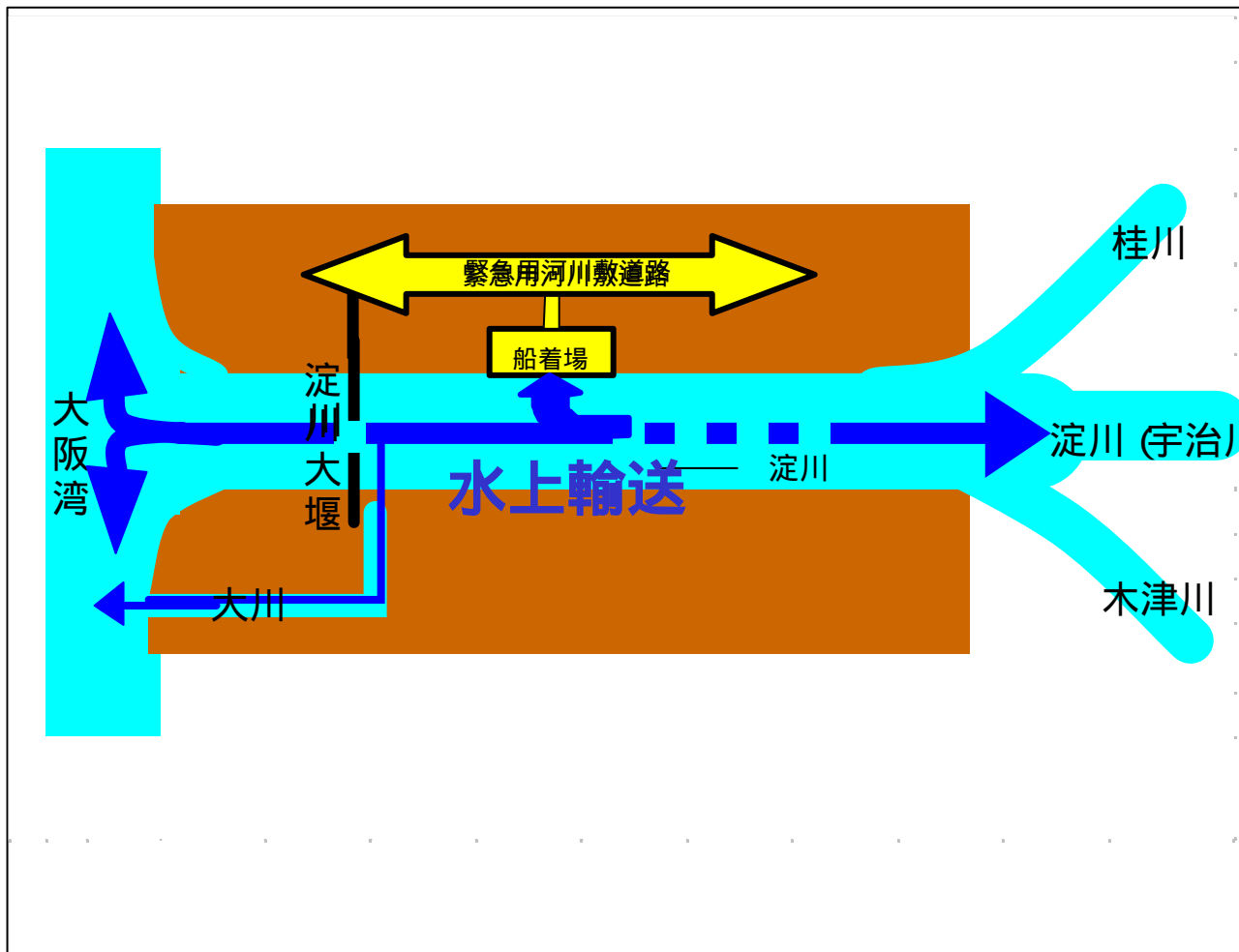
具体的な検討内容
 ・土砂輸送手段として、舟運や緊急用河川敷道路の活用検討

検討内容

舟運や緊急用河川敷道路の活用により、生物の生息・生育環境への軽減を検討する。

スケジュール ■ 検討

H15	H17	H19	H21	H23	H25
○	○				



緊急用河川敷道路イメージ写真

船着場イメージ写真

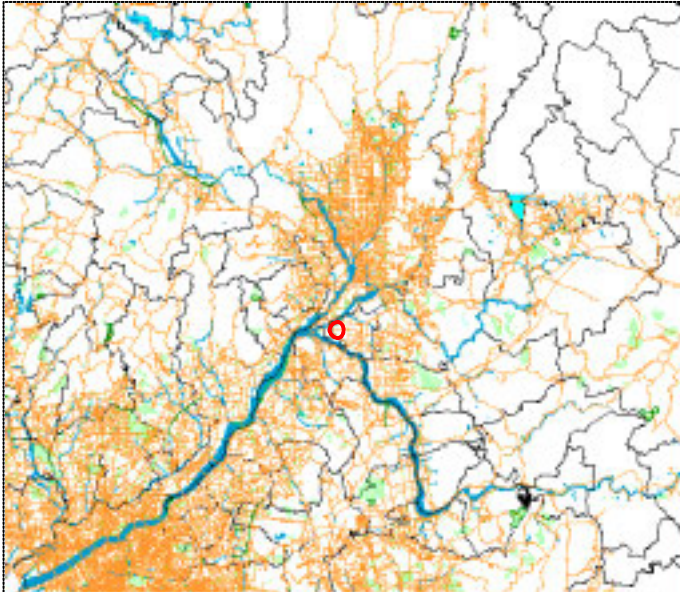


説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5.2.8	ページ	p.10	行	17行目
事業名	淀川土砂仮置場整備事業		河川名	淀川			
府県	大阪府 京都府	市町村	淀川沿川全域		地先	-	

現状の課題
 河川工事の施工、土砂の仮置き、工事用道路の設置やそれらの工事に伴う濁水の発生などが生物の生息・生育環境に影響を与えている場合がある。

河川整備の方針
 河川工事のための大量土砂の輸送手段としての舟運や緊急用河川敷道路の活用、土砂仮置場の堤内地での確保、河川敷内仮置き箇所・面積の縮小、工事用道路の既存土の活用等を図る。

位置図



具体的な整備内容

- ・土砂仮置場を堤内地に確保

事業の数量 諸元

等	全体数量
用地買収	1.8万m ²
整備工事	一式

- ・**〆**整備計画期間内数量

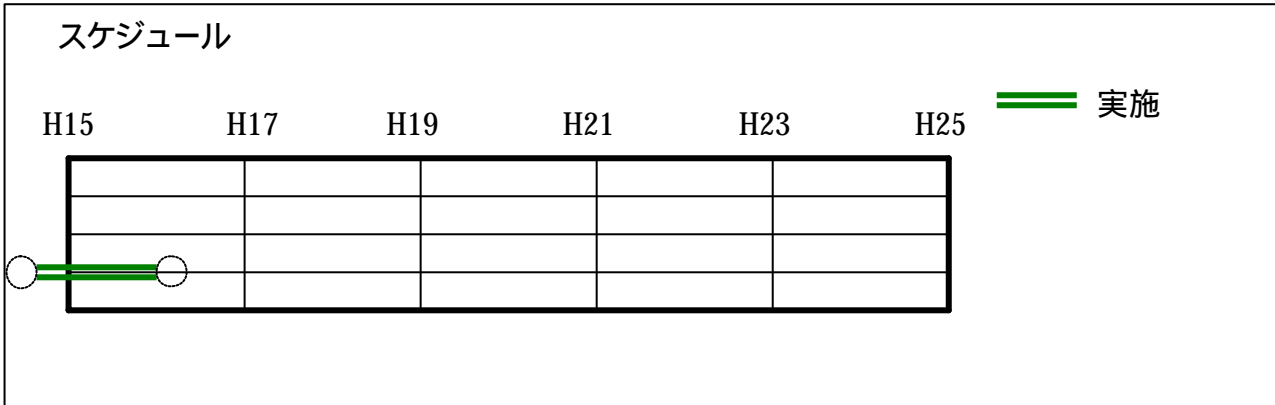
整備工事	一式
------	----

事業費

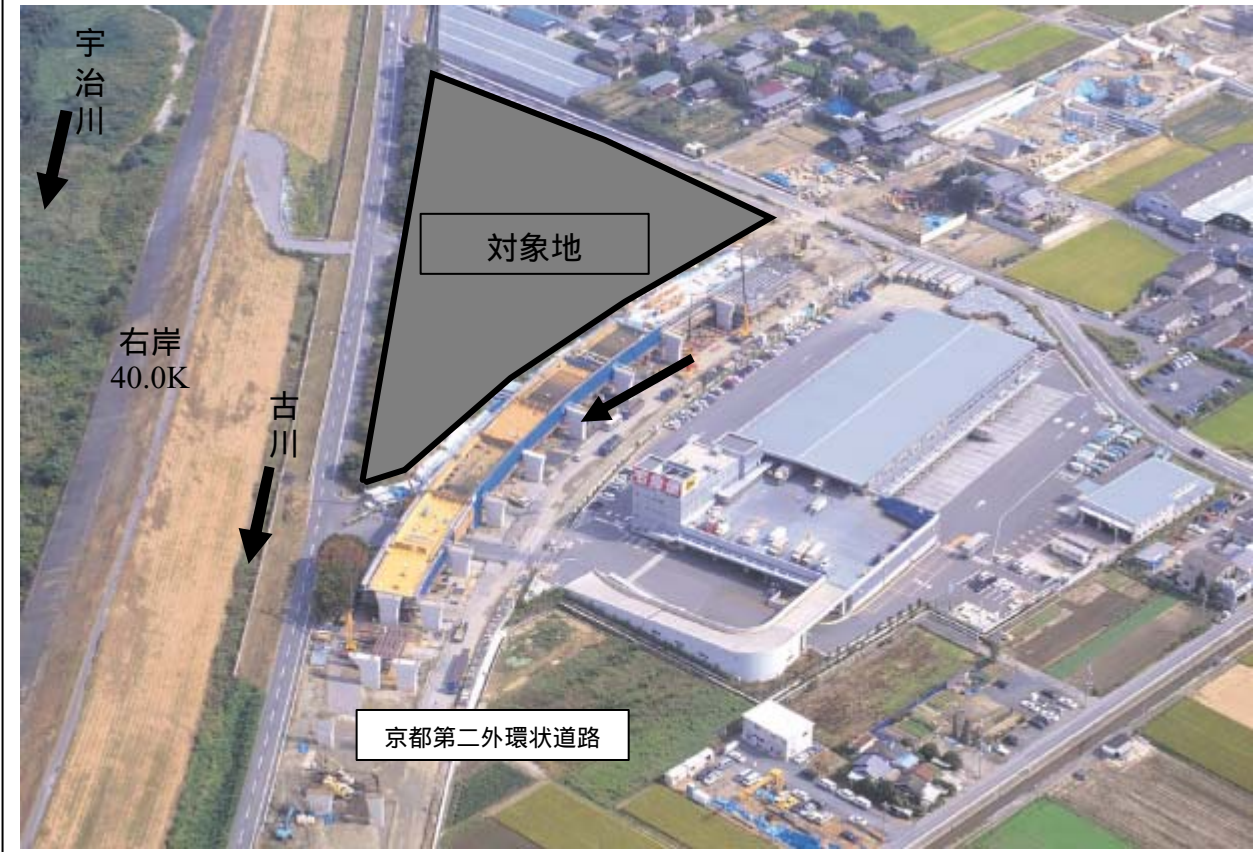
全体事業費	約 16億円
-------	--------

- ・**〆**整備計画期間内事業費

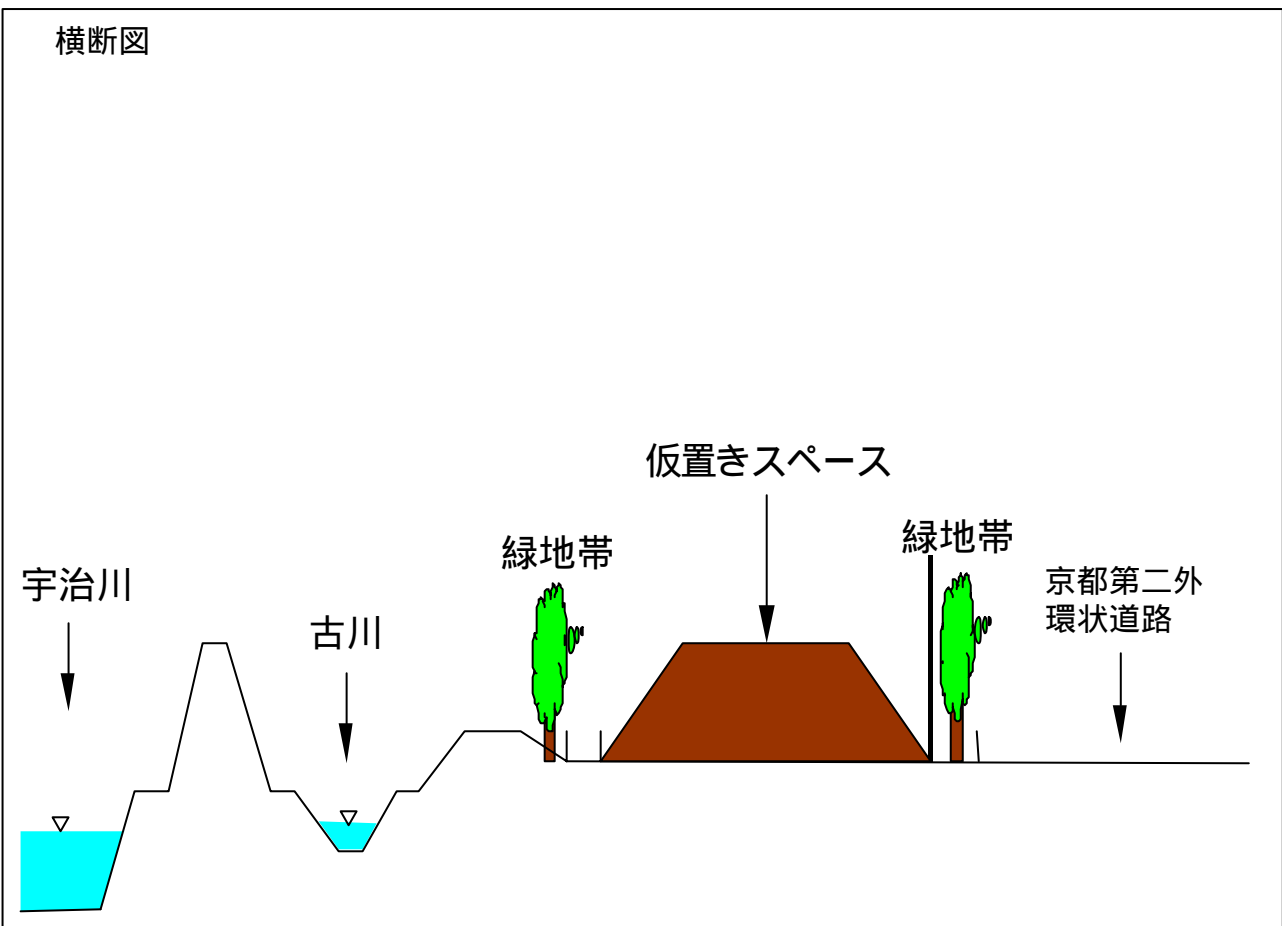
	約 2億円
--	-------



写真



横断図




説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5.2.8	ページ	p.10	行	18行目
事業名	仮置き箇所面積の縮小の実施		河川名	淀川			
府県	大阪府 京都府	市町村	淀川沿川全域		地先	-	

現状の課題
 河川工事の施工、土砂の仮置き、工事用道路の設置やそれらの工事に伴う濁水の発生などが生物の生息・生育環境に影響を与えている場合がある。

河川整備の方針
 河川工事のための大量土砂の輸送手段としての舟運や緊急用河川敷道路の活用、土砂仮置場の堤内地での確保、河川敷内仮置き箇所・面積の縮小、工事用道路の既存土の活用等を図る。

位置図



具体的な整備内容

仮置き箇所面積の縮小の実施

スケジュール

H15 H17 H19 H21 H23 H25

——— 実施

○	○				
---	---	--	--	--	--

写真

前島地区の状況



淀川

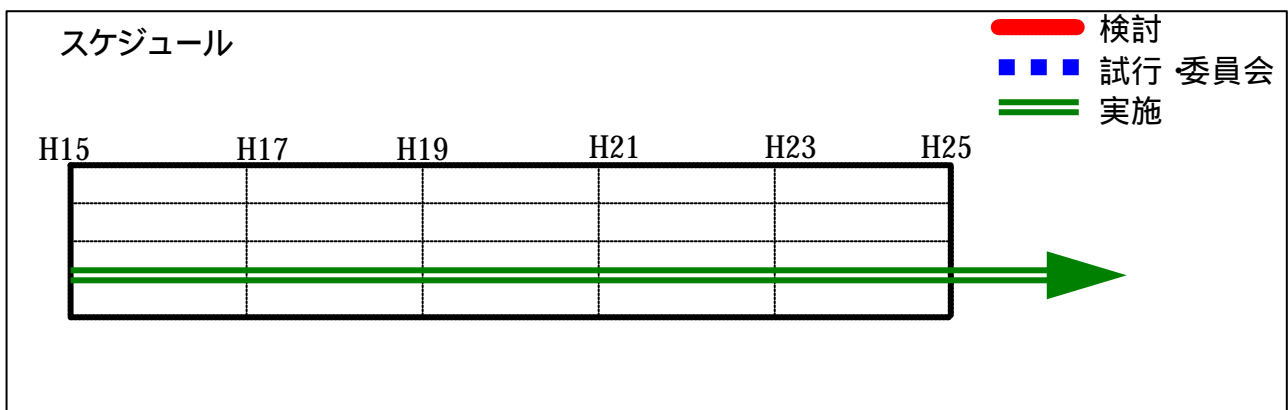
説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5.2.8	ページ	p.10	行	21行目
事業名	生物の生息・生育環境に関する事前事後調査の実施		河川名	事例河川			
府 県	-	市町村	-	地先	-		

現状の課題
 河川工事の施工時や仮設工の設置により濁水の発生や震動、騒音、排気が生物の生息環境を悪化させている。

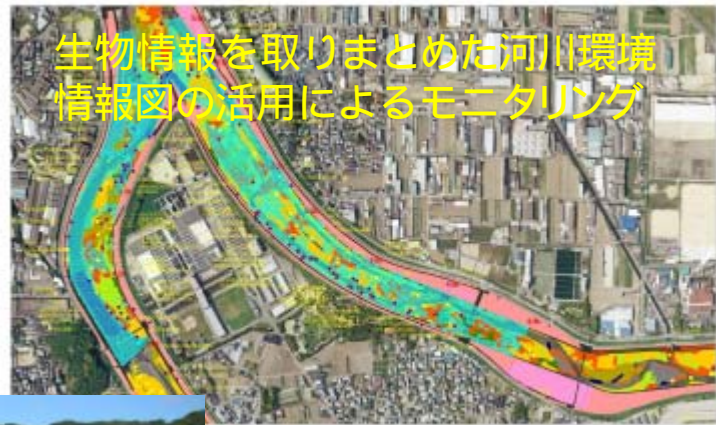
河川整備の方針
 生物の生息・生育に対して影響の小さい工法の採用、仮設工事等の実施
 モニタリング調査による効果の把握

位置図

具体的な整備内容
 生物の生息・生育環境に関する事前事後調査の実施



状況写真



フローチャート

